

東通村診療所に新しい研修医が来ました！



8月13日から9月30日まで、堀内 正夫（ほりうち まさお）医師が研修医としていらっやいましたのでご紹介いたします。

「私は神奈川県横浜市出身で、小さい時は本ばかり読む、少し生意気な子供でした。北海道大学を卒業し、現在は横須賀市立うわまち病院に研修医として所属しております。

大学時代の思い出は札幌名物のスープカレーが美味しくて、いつも食べていた事です。

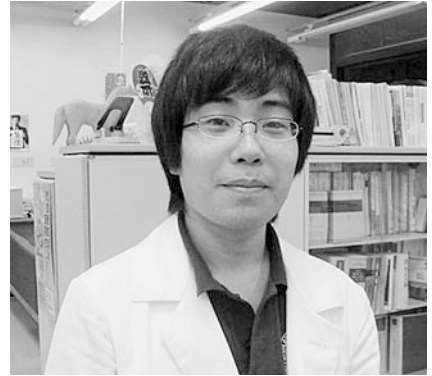
特技は早読みと英語、趣味は

読書と映画鑑賞です。休みの日には映画を見に行く事が多いです。

医師をめざした理由は「医師の仕事が直接社会貢献に繋がり、さらに最も貢献出来る天職だと思うから」です。ターミナルの患者さんのケアを終えて振り返った時、医師になって良かったと思う時があります。特に患者さんの急変時や救急の対応をする時、やりがいを感じます。

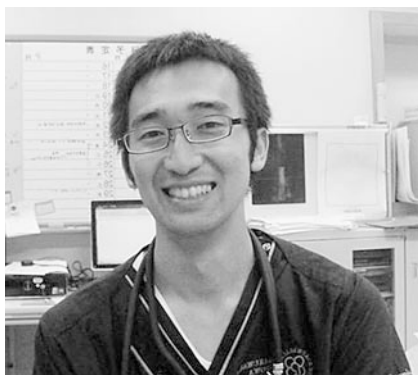
将来は総合内科、感染症科、医学教育などを目指しています。

東通村は「過ごしやすい地域



堀内 正夫 先生

と伺い、研修に来ました。新しい環境は少し不安ですが、地域の患者さんや暮らしを知りたいです。出来る事は多くはないですが、よろしく願います。」



須藤 航 先生

8月20日から9月16日の間は、須藤 航（すどう こう）医師が研修医としていらっやいましたのでご紹介いたします。

「出身は神奈川県茅ヶ崎市、海の近くで育ちました。小さい頃は海で遊ぶのがとにかく好きで、また自分の興味を持った事に対しては、とことん没頭するような性格の子供でした。

筑波大学在学中は軟式テニス部に所属し、夏の大会に向けて

日々練習に励んでいたのを覚えています。また、バイクであちこち出掛けるのが楽しみでした。

趣味はドライブと釣り、風景写真の撮影です。特にルアーフィッシングが好きで、割と手先が器用なので、釣りに熱中している時は自分でルアーを作ったりしていました。休日にはカメラを持ってあちこち出掛け、風景写真を撮ったりしています。

医師を目指したのは父親が内科医であり、忙しくも楽しそうに働いていたのを見ていたから。無意識のうちに影響を受けていたのだと思います。今は医師になり、担当している患者さんが元気になって一緒に喜べる瞬間が、一番良かったと思える時です。特に非常に状態が悪い患者さんが来院された時は、いつも「なんとか良くしてあげたい、

楽にしてあげたい」という気持ちが自然に湧いてきます。

以前研修した先輩医師の話を知り、非常に勉強になる事が多かったと聞き東通村に来ました。村民の方々と診療所が具体的にどのような繋がりを持って医療を行っているのかを、身を持って学ばせて頂ければと思います。そして将来は地域の総合病院でもなんでも診られる内科医になりたいです。

東北は初めてで、慣習・文化の違いに不安がありますが、楽しみでもあります。良い所・不便な所、皆さんの本音もお聞かせ頂きながら、力不足ではありますが、出来る事があれば是非お役に立ちたいと考えていますので、よろしく願います。」